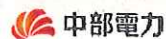


中部電気工事協力会連合会 御中

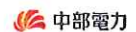
墜落防止用の個人用保護具に関する  
検討状況について（フルハーネス）  
（情報提供）

2019年1月



社外秘/取扱注意

02 | フルハーネス導入に向けたスケジュール



厚生労働省が考える今後のスケジュール

2019年2月	2019年8月	～	2022年1月1日
JIS規格改正作業 新規格品適用開始 旧規格品も使用可	旧規格品製造禁止	～移行期間～ 新旧規格混在	全ての身体保護具をフルハー ネスに切り替え <b>旧規格品は使用不可</b>

<電力業界および弊社の対応状況>

- ①配電工事の作業面・安全面で問題がない規格となるようJIS改正原案作成委員会へ提言。
- ②作業面・安全面を考慮したフルハーネスの要件の意見出しを行い、これらの要件を踏まえた仕様統一をメーカーと協調して検討。(2018年度末目途)
- ③フルハーネス試作品の作業性検証を行い、仕様統一に向けた意見出しや運用上の課題の洗い出しを実施(2018年度末目途)

2018年12月18日に電力ハーネス対応会議にて意見交換を実施し、フルハーネスの全電力統一仕様が決定しました。

## 01 | はじめに

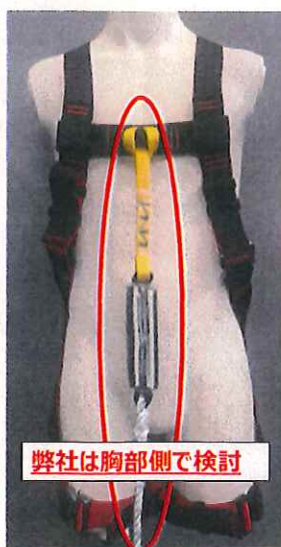
日ごろは弊社電気事業に対し、ご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

厚生労働省は、安全帯に関する災害事例等を踏まえ、墜落防止用の個人用保護具（以下、「フルハーネス」という。）の使用基準等の見直しに関する方針を発表しており、JIS改正原案作成委員会による規格の改正や関係法令の改正に向けた検討が進められています。

本日は、**電力業界および当社の対応状況**についてご説明させていただきます。

## 03 | フルハーネスの仕様統一（全電力）

墜落制止用ランヤードを接続した状態



弊社は胸部側で検討

胸部側



背部側

＜電力統一仕様について＞

- ✓3次試作品形状で決定。
- ✓藤井電工・サンコーでサイズ感を統一。（縫製位置も合わせる）
- ✓電力仕様フルハーネス名称をSV型フルハーネス（セーフティV型）で統一。
- ✓胴ベルトとの連結方法やランヤード（付属部品）については、各電力会社ごとに検討要。

2018年度中に弊社用の仕様を決定予定  
導入スケジュールについては検討中

## 04 | フルハーネスの仕様統一 (全電力)

### 電力 10 社向けフルハーネス

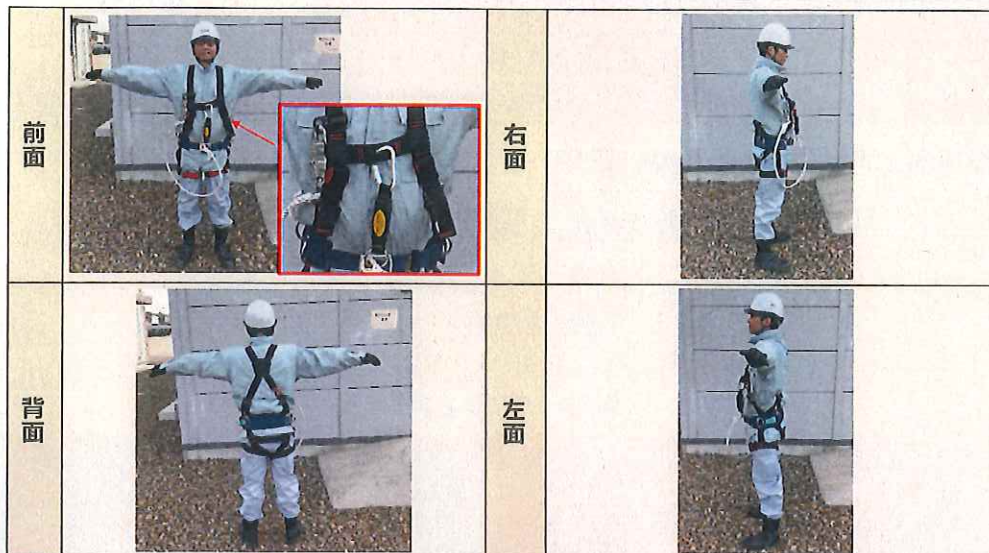


## 06 | 着用イメージ (腰道具着用 : サンコー)



√フルハーネスの大腿部分について、当初のV型・水平型から“U型”となったが、問題なし。  
 √腿ベルトの縫合位置やサイズの適正伸長（体重）が藤井電工と異なるため、仕様統一に向けた見直しが必要。

## 05 | 着用イメージ (腰道具着用 : 藤井電気)



✓フルハーネスの大腿部分について、当初のV型・水平型から“U型”となったが、問題なし。  
 ✓Mサイズ（160～180cm程度）に対し、適正伸長でも余長が長過ぎるため見直しが必要。